

結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和5年9月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

敬老の日大会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い縮小・中止されていた各地区での「敬老の日大会」が、地区の状況に応じて4年ぶりに対面でも開催されました。開催された地区では、役場から訪問させていただき、町長と町議会議長からのお祝いメッセージが伝達されました。地区子ども会からの歌のプレゼントやミニコンサートなど、趣向を凝らした取組が展開されました。※取材させていただいた地区の画像を紹介させていただきます。



左上：中川原住宅公民館 右上：中川原公民館 左中：町公民館 右中：石河内公民館ミニコンサート
左下：仁君谷公民館 右下：岩淵公民館（準備中） 取材協力ありがとうございました。

早く新型コロナウイルスが終息し、各地区で敬老の日大会が開催され、健康長寿をお祝いすることで、地域全体に元気な笑顔があふれてほしいと思いました。

第74回九州地区公民館研究大会長崎大会（報告2）

九州地区公民館研究大会の記念講演、神戸で「地域づくり」に実践的に取り組まれている永田宏和氏の「まちづくりやコミュニティ醸成、地域防災力向上などの分野で地域支援をする際の大切な考え方」について紹介いたします。

講師：永田宏和氏：株式会社 ipo 都市文化創造研究所代表取締役

NPO 法人プラスアーツ理事長、デザイン・クリエイティブセンター神戸【KIITO】センター長、2015年 TBS「情熱大陸」で活動が紹介されました。

演題：地域豊饒化における「風」「水」「土」そして、「種」の話

○地域の人たちが、お互いに仲良く、暮らす元気なまちになる「地域豊饒化」が重要
地域豊饒化→より豊かに育つ土壌を作り、豊かな実りを生み出す

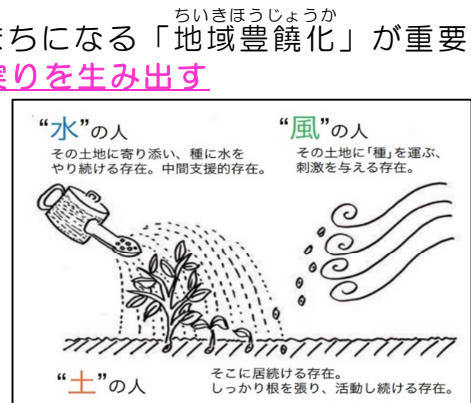
○「地域豊饒化」には、「風の人」「水の人」「土の人」の存在が不可欠です。

「風の人」：新たな「種」を運ぶ存在

「水の人」：「種」に水をやり続け、育てる存在

「土の人」：その地に存在し続け、はぐくむ存在

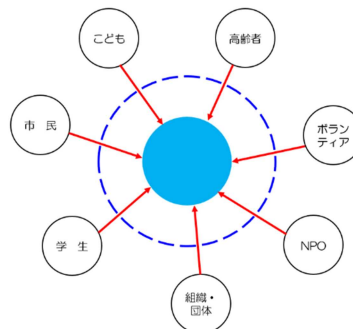
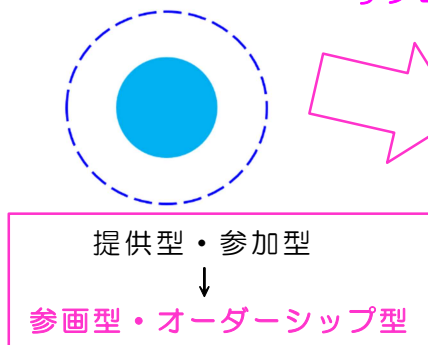
「種」とは、仕掛け、イベント、活動、政策など



良い種とは？

不完全プランニング

まちづくり活動において、地域住民の積極的な参画や交流を促すプログラムである方が良い



完成されたパッケージではなく
隙間だらけ、穴だらけ
「不完全」だから

みんなが関われる
みんなで一緒に創れる
みんなのものになり
定着する

※誰もが意見・知恵を出すことができ、協力して活動できる環境づくりが必要

+クリエイティブ

クリエイティブには、「創造的な」「新しい何かを創り出す」意味と「創り出す」ために「既存のものをぶち壊す」という意味がある → そのためには・・・



※「関わりたい」と思わせる、「関わることができる」と思える「魅力化」が必要

ゼロから新しく何かを創り出すことではなく今ある何かを創り出す、焼き直すこと

そのためには

↓
これまでの事業やプログラムを「根本から考え直してみる」「既成概念にとらわれず」「広い視野で」「違う角度から」「情熱と愛情をもって」考えてみるのが大切

→ デザインを注入し、事業やプログラムに強度を与えて、より伝わりやすくする

After コロナ、With コロナの新時代、誰もが参加・協力できる活動を通して、笑顔があふれる地域をみんなで創っていきましょう！